

I 上水道事業

1 上水道事業の概要

■ 給水区域 ■

給水区域は11市にまたがり、その面積は約566km²（県面積の約11%）に及んでいます。

11市＝市川市、鎌ヶ谷市、浦安市の全域及び千葉市、船橋市、松戸市、成田市、習志野市、市原市、印西市、白井市の一部

■ 給水人口と給水量の移り変り ■

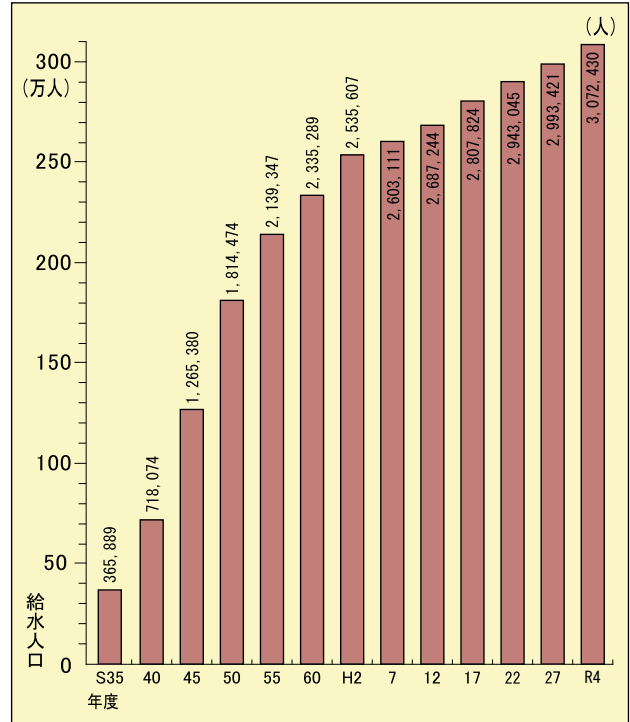
令和5年3月末現在の給水人口は3,072,430人（県人口の約49%）、普及率は96.5%に達しています。

令和4年度の給水状況は、一日最大931,830m³、一日平均860,972m³、年間では約3億1,425万m³になっています。

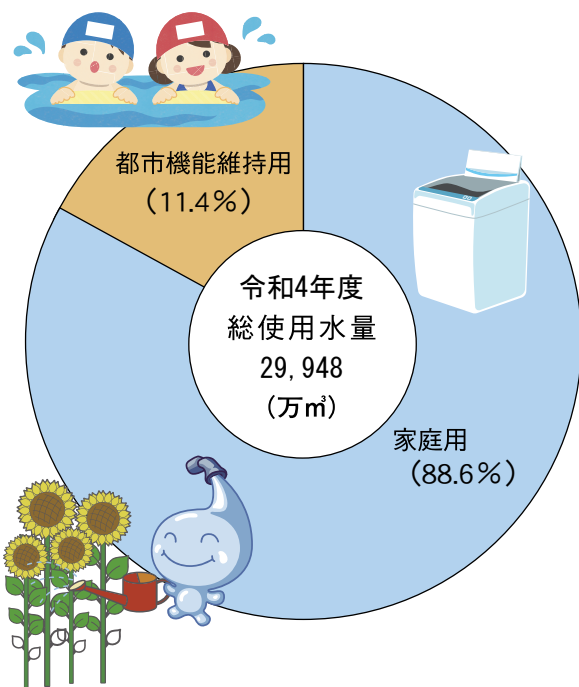
また、用途別使用量では、家庭用が約90%を占めています。

なお、一日最大給水量は令和元年8月3日に過去最高の1,050,982m³を記録しています。

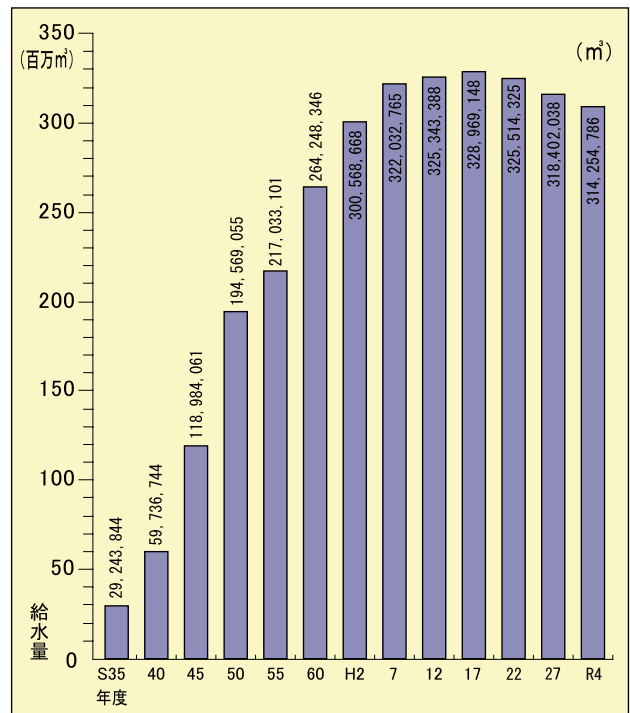
○給水人口の推移



○用途別使用割合



○給水量の推移



■ 水源及び浄水施設 ■

上水道事業では水源を利根川水系及び県内河川である養老川水系の河川・湖沼水と、北千葉広域水道企業団（利根川水系）及びかずさ水道広域連合企業団（小櫃川水系）からの受水としています。利根川水系への依存度は北千葉広域水道企業団からの受水を含め約9割となっています。

浄水場には、利根川及び印旛沼を水源とする柏井浄水場、利根川を水源とする北総浄水場、江戸川を水源とするちば野菊の里浄水場及び養老川水系の高滝ダムを水源と

する福増浄水場があります。

なお、柏井浄水場、福増浄水場及びちば野菊の里浄水場ではオゾンと粒状活性炭を併用した高度浄水処理を行っています。

この他に受水施設として、北千葉広域水道企業団から受水する沼南給水場と、かずさ水道広域連合企業団から受水する姉崎分場があります。

○給水区域図

